



森とアースへの
eco
プロジェクト

森とアースへのECO-プロジェクト
平成27年 実施報告書



Create the Future
環境開発工業株式会社



公益財団法人 **北海道環境財団**

はじめに

わが社は1976年より、使用済み廃油の再生事業から創業し、今年で40年を迎えます。現在では廃油の再生事業以外にも様々な産業から発生する廃棄物から、金属、基板、プラスチック等の価値ある素材の回収やRPF(固形燃料)製造、消火器、OA機器、オイルエレメントなど複合化された使用済み製品からのマテリアルリサイクル等、常に工夫しながら事業の拡大・継続に努力しております。また、「**社業を通じ、いかにして社会貢献できるかを常に模索します**」を経営理念に掲げ、現在では障がい者や高齢者の方々にもリサイクル作業に従事していただき、人々と循環の輪をつなぐことも含め、社会貢献事業と考えております。そしてこの度、北海道環境財団と共に「森とアースへのECOプロジェクト」を立ち上げ、ご賛同いただいた7社のお客様の「使用済み廃油」を1kg=1円に換算し、「アースポイント」として弊社から環境財団に寄付をさせていただき、お客様と弊社による社会貢献活動のひとつとさせていただきます。

それにより、本年は石狩市、下川町、津別町の3市町様の「森づくり」の支援をさせていただき、植林、下草刈りを含む森林管理にお役立ていただき、CO₂削減や生物多様性の保全貢献にも繋がりました。

わが社のモットーであります「**より良い環境を次世代に継いでいくこと**」はまさに、本プロジェクト参加を通じて実現できることだと確信しております。

大自然豊かな北海道ですが、森や資源は無限ではありません。

限りある資源を無駄にせず可能な限り再利用、再生を行い、その結果を「資源や自然に戻す」ことで本当の循環ではないかと考えます。

微力ではありますが、可能な限り本プロジェクトに参加できる様、事業継続して参ります。

環境開発工業株式会社
代表取締役 **高澤洋一**

ご賛同企業 7社様 [五十音順 敬称略]

札幌トヨタ自動車(株) / 札幌トヨタペット(株) / 札幌日産自動車(株)
北海道エネルギー(株) / 北海道日産自動車(株) / 北海道マツダ販売(株)
北海道三菱自動車販売(株)

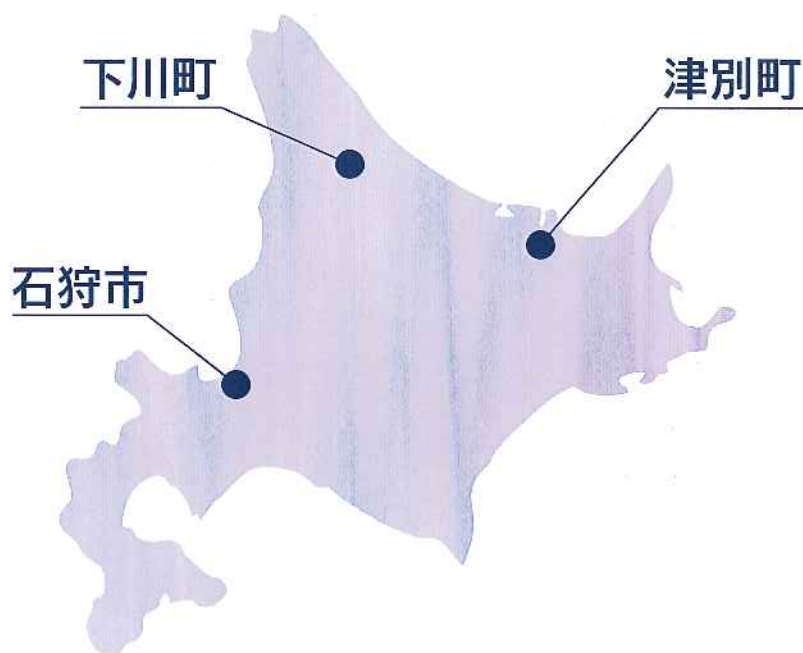
平成27年 実施実績概要

北海道は、全国の4分の1の森林面積を有する森の大地です。

森林は地球温暖化の原因となる温室効果ガスを吸収するなど豊かな生態系サービスをもたらす貴重な資源です。こうした森林の保全を図るためには、適切に人の手を入れて、管理・活用することが必要です。道内では、森林の価値を積極的に評価し、その保全・活用に努める自治体が多数あります。

環境開発工業株式会社と北海道環境財団は、こうした道内自治体と連携して森とアースの恵みの保全活動を推進するべく「森とアースへのECO-プロジェクト」を立上げ、道内各地において取り組まれている森林保全活動を支援いたしました。

平成27年は、石狩市、下川町、津別町の1市2町を支援対象自治体といたしました。



実績概要

- 対象自治体:石狩市・下川町・津別町 ●面積: 16.5ha
- 施業内容:植林および下草刈り ●植林樹種:トドマツ・カラマツ
- 事業期間:平成27年5月～11月



北海道石狩市

石狩市は、平成17年10月1日に旧石狩市、厚田村、浜益村の1市2村の合併により誕生しました。市域は石狩湾に沿って南北およそ70キロに及び、南部には北海道遺産「石狩川」が、また約5.3万haもの森林を有するなど、豊かな海・川・山に恵まれています。

石狩市では、適正な森林管理を進め、森林の有する多面的機能が十分に発揮される森林づくりに取り組んでいます。海と森が近いことから「森が海を育てる」という認識を広く共有しています。豊かな海を育むためには、間伐などによ

り森林を健やかに育て、落ち葉などの有機物が海に流れ込む環境が必要です。市としての森林づくりはもちろん、厚田区のお魚殖やす植樹活動や浜益区のお魚つきの植林活動など、市民参加による取り組みも実施されています。

こうした取り組みを通し、一時姿を消していたニシンが、近年浜に戻りつつあります。ニシンの大群が産卵する「群来(くき)」により海がエメラルドグリーンに染まる光景も一部で見られるようになってきました。森と海が織りなす「群来」のような自然の営みを未来へと引き継いでいくことを目指し、豊かな森林づくりに取り組んでいます。

石狩市



プロジェクト実績のご報告

石狩市の市有林は2,132haで、森林面積の約3%を占めています。市有林の内6割は天然林ですが、現在はカラマツをはじめとする人工林を中心とした施業管理を行い、「豊かな自然を守り育て活かすまち」を目指し、森林の有する多面的機能が十分発揮される森づくりをすすめています。

この度は本プロジェクトの一環として、以下の概要で下草刈りを行いました。



実績概要

- 場所: 石狩市厚田区及び浜益区
- 面積: 12 ha
- 施業内容: 下草刈り
- 事業期間: 平成27年5月～8月

石狩市の産業・特産品のご紹介

石狩市は、農・林・水産業などの1次産業から札幌圏として発展が期待される3次産業まで、産業構造のバランスがとれたまちです。その中において厚田区、浜益区は1次産業が主流で、豊富な農・水産物のほか、地域の素材を活かした加工品作りにも力を注いでいます。

JA女性部が手作りする「しそジュース」、「手造り味噌」や、果樹農家による新鮮なリンゴを使用したジュース、ジャムなどひとつひとつ丹精を込めた石狩の味を提供しています。





北海道下川町

下川町は、北海道の北部に位置し、町の面積64,420haのうち88%が森林という豊かで美しい自然と森林資源に恵まれた地域です。冬のしばれを利用した氷のランプシェード「アイスキャンドル」や草地造成の際に排出された大量の石から「万里長城」を築城するなど、工夫やアイデアによって地域を元気づける活動が町民の手によって行われています。

下川町は、明治34年に岐阜県からの入植者により開拓がはじまり、その後、珊瑚(さんる)鉱山や下川鉱山にて金・銅を採掘、鉄道も開通し「農・林・鉱業の町」として発展してきました。

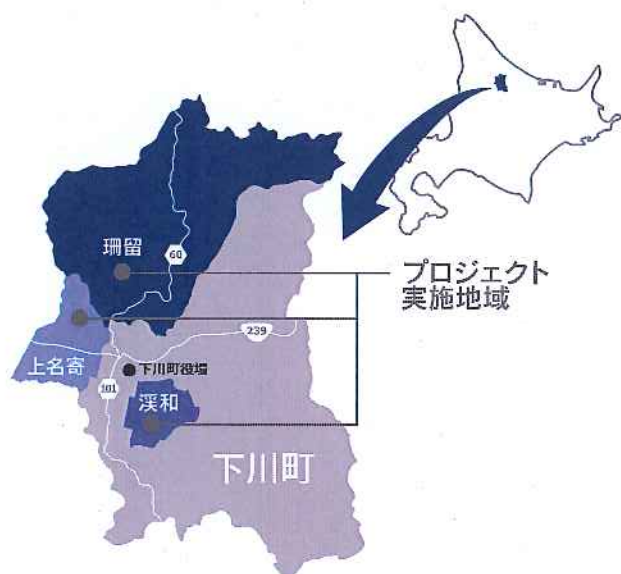
現在においても、林業・林産業は、町の主要産業を担っており、「循環型森林経営」を基盤とし、林業従事者の雇用の場の確保と伐採した木材を地域内へ安定供給しつつ、持続可能な森林づくりに取り組んでいます。

平成23年には、下川町は国から「環境未来都市」の選定を受けました。半世紀にわたり築いてきた森林共生型社会を基盤とし、森林総合産業の創造、エネルギーの自給、少子高齢化社会への対応、この3つを柱に、誰もが暮らしたいまち、誰もが活力あるまち「森林未来都市」の実現を目指しています。



プロジェクト実績のご報告

下川町では、毎年50haの植林を続けることで、「植林50ha×
 保育・伐採60年」の循環型森林経営システムを確立しています。
 平成15年には、国際的な森林認証を北海道内で初めて取得し、
 適切な環境配慮のもと持続可能な森林づくりへの配慮と産業
 の活性化に向けた取り組みを進めています。
 この度は本プロジェクトの一環として、以下の概要で植林を
 行いました。



実績概要

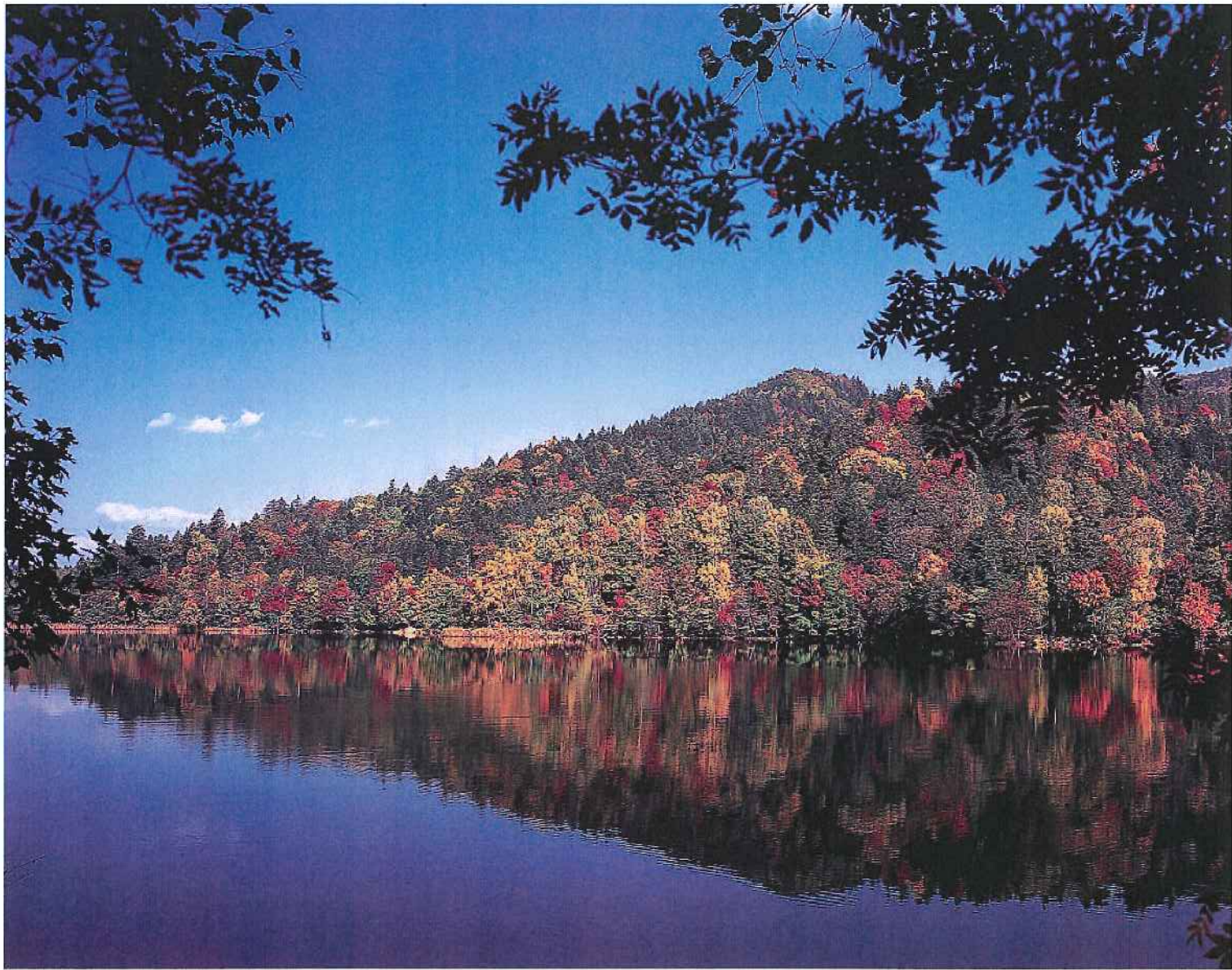
- 場所:下川町上名寄、溪和、珊留 ●面積:1.0ha
- 施業内容:植林 ●樹種及び植林本数:トドマツ(1,800本)
- 事業期間:平成27年5月、9~11月

下川町の産業・特産品のご紹介

下川町は、林業・林産業にくわえて、農業を基幹産業としています。農業粗生産額の7割を占める酪農、雪国の地域特性を活かした春小麦の初冬まき栽培、寒暖の差を活かしたフルーツトマト・キヌサヤ・ネギなどの施設野菜を中心とした農業が展開されています。

特産品では、完熟トマトを加工した「トマトジュース」や、冬期間における農家の副業として始まった「手延べ麺」などを中心に、地場産業における後継者の育成支援にも力を注いでいます。





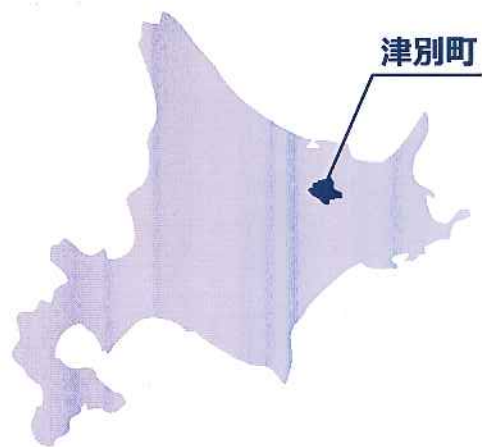
北海道津別町

津別町は、その面積の約86%を山林が占め、扇状に広がる河川流域に農村集落が形成されている典型的な中山間地域です。内陸気候帯に属しているため、夏は相当の高温を記録しますが、冬は流氷などの影響も受け寒冷で寒暖差が大きく、また、降水量は少なく、晴天日数が大きいのが特徴で、日照率は全国有数を誇っています。

津別町は、昭和57年に日本の林業の発展を願い、森林資源の持続的な保全・活用を目指し、全国で初めて「愛林のまち」を宣言しました。その恵まれた森林資源等から多くの製材事業所があり、町の基幹産業となっています。

もう一つの基幹産業である農業においては、人・牛・環境に配慮した循環型農業が推進されています。

近年は、林地残材の有効活用を図るため木質ペレット製造施設を整備し、公共施設へのペレットボイラーや一般家庭へのペレットストーブの導入を積極的に進めています。町内の大規模単板・合板工場でも木質バイオマスエネルギー利用が進められており、町全体として未利用森林資源のエネルギー活用による地域活性化と森林が持つ公益的機能を保全、林業の再生と環境保全型地域循環社会を目指しています。



プロジェクト実績のご報告

津別町の森林のうち23%が町有林です。

天然林・カラマツ等を主体とした町有林については平成24年度に森林認証（SGEC認証）を取得、認証基準に基づく環境等に配慮した森林の育成に努めています。また、町有林の間伐より創出されるオフセット・クレジットの販売・提供も進めています。

この度は本プロジェクトの一環として、以下の概要で植林を行いました。



実績概要

- 場所:津別町字木樋 ●面積:3.5ha ●施業内容:植林
- 樹種及び植林本数:カラマツ(7,090本) ●事業期間:平成27年5月

津別町の産業・特産品のご紹介

津別町は、基幹産業である農業においても環境に配慮した取り組みが行われています。有機農畜産物を原料にした有機牛乳や有機加工食品、他にも特別栽培で生産した農産物(玉葱・馬鈴薯など)など各農家がこだわりを持った農畜産物や加工食品があります。

これらを原料としたお菓子等も町内で製造販売しており、町内の道の駅「あいおい」でのみ購入できる「クマヤキ」は、味に加えて見た目のかわいさから人気のオリジナルスイーツです。



環境開発工業株式会社

[所在地]

北海道北広島市北の里41番地27

TEL: 011-373-2728 FAX :011-373-2499

[概要]

廃油並びに産業廃棄物の収集運搬及び処理事業、再生重油販売事業を目的とし「(株)廃油処理センター」を1976年に設立。

1987年に「環境開発工業(株)」に社名変更し、循環型社会形成のために、極力、埋めない、焼かないを目標に、リユース・リサイクル等の循環処理品目拡大に努めています。

公益財団法人 北海道環境財団

[所在地]

北海道札幌市中央区北4条西4丁目1

伊藤・加藤ビル4階

TEL: 011-218-7811 FAX :011-218-7812

[概要]

市民・民間の環境保全活動を支援するため、北海道の出資により1997年に設立。

1999年には、地球温暖化対策推進法に基づき「北海道地球温暖化防止活動推進センター」に指定、温暖化防止活動の支援や啓発・広報活動等に取り組んでいます。